KEYTEC ストラクチャスキャンSIR-EZ XT Scan EZモード

操作マニュアル

①-1 ストラクチャスキャンSIR-EZ XT本体の説明

①-2 ストラクチャスキャンSIR-EZ XT本体の説明



② 基本操作

 バッテリースロットにバッテリーを入れます。カチッと鳴るまで優しく差し込む。
 電源ボタンを押すと青く点滅します。数秒後システムが起動し、メインメニュー 画面が開きます。



※XTは節電機能のスリープモードを搭載しているため、スリープモード時は 画面が真っ暗になり、電源ボタンが青く点滅します。 操作ボタンのいずれかを押すと解除されます。

③ メインメニュー画面



④ Scan EZモード

①ScanEZモードを選択します。

<u>②Scan EZモード 測定前設定</u>

- **深度** 10,20,30,40,50,60cmから測定する深度範囲を選択します。 厚さ+10cmの設定が推奨されています。
- コンクリート(比誘電率) XTは自動で比誘電率を算出する機能が搭載されています。 通常は比誘電率6~8【弱乾燥(6.25)】が推奨されています。

➡ — 融

Essi

2

⑥ 測定画面



⑤ 測定方法

ハンドル部分を持ち、トリガーボタンか【スキャン】 🖓 を 押すと測定開始します。 コンクリートの上(測定面)を前進させ、波形を出します。





⑦測定中設定









と同じ名前で保存されます。ファイル名はAか

ら順にアルファベットが記載されていきます。

例: FILE 056A、FILE 056B

※波形が見やすくなりま

⑧ プロット方法

位置が一致します。

⑨ 測定データの再生

1. 保存されたデータを再生します。操作ボタンでScan EZモードの【再生】



下記の画面に移り、操作ボタン
を押し、保存されているファイルから再生したいデータを探します。(紙でスクロールすることで素早くファイルを選択することが可能です。)
 ・再生したいファイルを選択し操作ボタンの真ん中(決定ボタン)を押してチェックを入れます。
 ・ファイル名の左の空白の四角い部分をタッチし、チェックを入れます。



3. 操作ボタンを押し、 【再生】を選択します。

データ保存

外部データの本体への転送機能

XT本体からUSBヘデータの転送は可能ですが、USBからXT本体ヘデータを転送することが出来ません。 USBにデータを転送する場合は、「USBヘコピー」をご使用ください。

:171.25/197.50 比決問事:4.59

バックカーソル

ScanEz

鉄筋の向き

「USBへコピー」でUSBへ転送してください

「USBへ移動」を選択した場合は本体からデータが削除されます。 一度XT本体からデータを移動してしまうと、本体に戻すことができません。 USBに転送する場合は、ご注意ください。

測定中、本機を後退させると探査データ画面上に縦線(バックカーソル)が表示されま す。バックカーソル位置は上下レーザー光の位置と一致します。バックカーソルを山形

波形の頂点に合わせた時、本機アンテナの中心(上下レーザー光位置)とターゲットの



⑪-1 キューブアンテナ







タイヤ(エンコーダ)の位置を変更可能

タイヤ(エンコーダ)の位置も3パターンに付け替えができ、より現場に適した探査が可能です。



①-3 キューブアンテナ(脱着方法)



専用のドライバーを用いてハンドルを 取り外します。



※脱着の際は電源OFF、バッテリーを 抜いてから行って下さい。

①-4 キューブアンテナ(脱着方法)



⑫ 使い方動画あります(KEYTEC社より)

